

上下水道部

運営方針

上下水道事業の経営基盤強化と施設の長寿命化を推進

上下水道は、市民が健康で安全かつ快適な生活を送るうえで欠くことのできない都市基盤施設、ライフラインです。このため、地震や事故に強い上下水道システムの構築を図るとともに、持続可能で安定した上下水道事業の経営を目指し、経営の効率化及び健全化に取り組んでいます。

令和5年度は、平成30年度に策定した「上下水道ビジョン」の確実な推進と持続可能な上下水道事業経営の構築を図ります。上水道については、老朽施設の更新や耐震化事業を進めるとともに、広域化・共同化の検討を進めます。下水道については、未普及地域の解消や下水道管路の長寿命化を進めるとともに、水洗化率の向上と官民連携により、維持管理体制の充実を図ります。

【重点施策とめざす方向】

持続可能で安定した上下水道事業経営の構築

水道事業では、近隣市町村との広域的な連携や事務の共同化について検討を進めるとともに、民間活力の活用についても検討を行い経費削減に努めます。

下水道事業では、さらなる経営の健全化を進めるため、年度末の水洗化率97.5%を目指すとともに、官民連携手法による維持管理体制の充実を図ります。



【実績】

目標をやや下回った

水道事業では、大阪広域水道企業団において水道事業統合に向けた未統合団体の機運醸成を図るとともに、企業団との統合の検討を行いました。また、近隣市等と共同発注した「大阪河南地域7水道事業水道施設管理等」において、業務の更なる効率化・高度化に向け検討を開始しました。

下水道事業では、人口減少もあり、年度末の水洗化率が95.9%となりました。また、官民連携による下水道施設の維持管理の充実を図りました。

安全で強靱な水道施設の構築

「水道施設整備計画」に基づき、千代田受水場電気設備更新工事や、日野浄水場活性炭注入設備の更新など、浄水・配水施設の計画的更新や耐震化を進め、安全で安心した水道水の供給を図ります。

また、水道施設整備計画や日野浄水場更新計画の見直しを実施し令和5年度以降の適正な計画遂行を目指します。

災害時における重要給水管路等の耐震化を進め、年度末の耐震管率28.0%を目指します。



目標どおり達成

「水道施設整備計画」に基づき、千代田受水場電気設備更新工事や日野浄水場活性炭注入設備更新工事、水道管路の布設替工事などにより、浄水・配水施設の計画的更新や耐震化を進めました。

災害時における重要給水管路等の耐震化を進め、年度末の耐震管率28.1%となりました。

快適な生活環境を提供するための下水道の整備促進

生活排水のより一層の水洗化を図るため、公共下水道の未普及地域の下水道整備事業と、浄化槽処理促進区域の公共浄化槽等整備推進事業の取組をすすめ、汚水処理整備率96.6%を目指します。



目標をやや下回った

公共下水道整備事業をすすめ、令和5年度末普及率は、95.1%となりました。浄化槽処理促進区域における公共浄化槽整備事業の取り組みも進めましたが整備済み区域の人口減少もあり、令和5年度末汚水処理整備率は、95.6%となりました。

安全で安心な下水道施設の構築

「下水道ストックマネジメント計画」に基づき老朽化のすすむ管路施設に対し、長寿命化対策事業（第3期：R3～R7）を推進し、1,372mの更新を行います。

また、災害時における避難所の生活衛生の確保のため、マンホールトイレ2箇所の整備を行います。



ほぼ目標どおり達成

長寿命化対策事業をすすめ、老朽化した管路980mの更新を行いました。

また、マンホールトイレ整備事業をすすめ、三日市小学校・加賀田小学校にマンホールトイレの整備を行いました。